



2015年度第4号 2016年2月15日

島根大学職員組合広報部

内線 (9)2198, ダイヤルイン 0852-32-6407

E-mail [shimane-uu@soc.shimane-u.ac.jp](mailto:shimane-uu@soc.shimane-u.ac.jp)<http://sula0043.soc.shimane-u.ac.jp/kumiai/kumiai.html>

2015年度の組合ニュース第4号をお届けいたします。第4号の記事は、①第3回団体交渉、②2015年人事院勧告への対応について、③人事労務課と職員支部の意見交換会、④教研集会の報告です。

### 第3回団体交渉を行いました

2016年2月3日に、第3回団体交渉を行い、55歳以上昇給停止問題について基本合意に至りました(詳細は、組合HPの団体交渉記録を参照してください)。出席者は、大学側から藤田理事をはじめとする7名、組合側からは役員9名。主な合意内容は、以下の通りです。

1. 大学は、この問題で誠実交渉を行わなかった責任を認め、組合に対し和解金200万円を支払う。
2. 大学は、不利益をこうむった在籍中の職員に対して、研究費・研修費支給などによる教職員活性化支援制度を実施するとともに、カウンセラーを配置する。

第2回団体交渉の速報(2015年12月24日くみあいニュース〈メール版〉参照)にも記しましたが、今回も執行部には誠実な対応をしていただいております。これ以上この交渉を長期化させることは他の問題にも悪影響を及ぼすものと考えられます。島根大学職員組合としては、給与決定において常に人勧準拠を根拠にすることは承諾できず、不利益変更について給与に拠らない代償措置は受け入れられないが、慰謝的意味の和解によってこの問題の解決を図ることはやむをえないものと判断し、組合側の出席者全員で別室協議のうえ、大学側の提案を受け入れることにいたしました。

以上をふまえて、近日中に合意書を取り交わす予定です。

長谷川博史

### 2015年人事院勧告への対応について

ご承知のように、2015年人事院勧告どおりに実施することを内容とした一般職給与法改正法案等が、2016年1月20日の参議院本会議で成立しました。島根大学はこれに準拠して、職員給与規程等を一部改正しました。主な内容は、以下の通りです。

1. 俸給表を平均0.4%引き上げる
2. 勤勉手当を0.10ヶ月引き上げる(再雇用については0.05ヶ月引き上げる)
3. 初任給調整手当限度額を50,300円から50,500円に引き上げる(医学部のみ)
4. 以上を2015年4月1日に遡及して実施する

長谷川博史

### 人事労務課と職員支部の意見交換会を開催

懸案となっておりました職員個人評価制度の改善を目指すべく、2016年1月26日に人事労務課と職員支部との意見交換会を開催しました。職員支部からは従来の面談不実施、フィードバックの欠如

などの問題点の指摘にはじまり、「評価者・被評価者双方に負担が大きいわりにメリットが少ない」、「数値目標など現実にそぐわない評価基準がある」といった問題点が指摘されました。また、次年度早々に実施が予定されている評価者研修における面談スキル重視や、評価基準の簡素化、確実な面談実施に向けた方策など、数多くの提言がなされました。人事労務課も職員支部から提出された意見に対して前向きに検討する感触があり、実りの多い会となったと言えます。

内藤忠和

## 2015年度教研集会(第38回)が開催されました！

12月11日(金)18時00分から、法文学部棟2階多目的室1を会場に、第38回教職員研究集会が開催されました。「大学改革時代における教職協働in島大」という統一テーマのもと、さまざまな角度から報告や意見交換があり、有意義な会となりました。参加者は約30名でした。まず中央執行委員会報告「他大学における教職協働の試み」(内藤忠和書記長)が行われ、教職協働について他大学における実践例及び調査結果等について分析が報告されました。続いて、松江キャンパスの各支部から、次の報告がありました。

- ① 教育支部「教育学部における教職協働の事例報告～教育実習の運営の場合～」  
(広兼志保 氏、長岡美沙 氏)
- ② 生物資源支部「生物資源科学部教員と職員の交流をふたたび」(山口啓子 氏)
- ③ 総合理工支部「総合理工学部改組案」(加藤定信 氏)
- ④ 法文支部「法文学部における「教職協働」の現状と課題」(渡邊英俊 氏)
- ⑤ 職員支部「何を目指して協働するのか」(山根冬彦 氏)

各支部の抱える問題点等について充実した報告があった他、情報交換もでき、各支部の状況をお互いに知るよい機会となりました。

門脇正行・影山陽一

